Staff

Daiki Oyama
Yuki Hayashi
Reiko Ogasawara
Yuko Fujita
Maiko Saratani
Tatsuya Yamamoto

◆

Special Thanks

～ Dai Zadankai ～
Yasunori Tanaka
Yumika Teramura

～Course Introduction～
Hideaki Takashima
Homare Inoue
Yuki Kajikawa
Ikuyo Okuda
Keiko Okuda
Yasunori Tanaka
Maria Fujii
Tomoyo Katatani
Michiko Minato
Natsumi Tomita
Yuko Ueno
Maiko Takano
Tomoko Maki
Yuko Watanabe
Umi Imoto

～ Support ～
Chika Shiota
Megumi Nakatsu

～ Tarte & Photo ～
Tomoco Ogino

◆

Professor
～Committee of publicity～
Tsuneo Matsuura
Tomoko Ikegami

～ Secretariat of Shienkiko ～
Yoshiyuki Fukushima

企画・編集
大阪市立大学
文学部・文学研究科教育促進支援機構
文学研究科広報委員会

発行所
大阪市立大学大学院文学研究科・文学部
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
www.lit.osaka-cu.ac.jp
2007/08/01

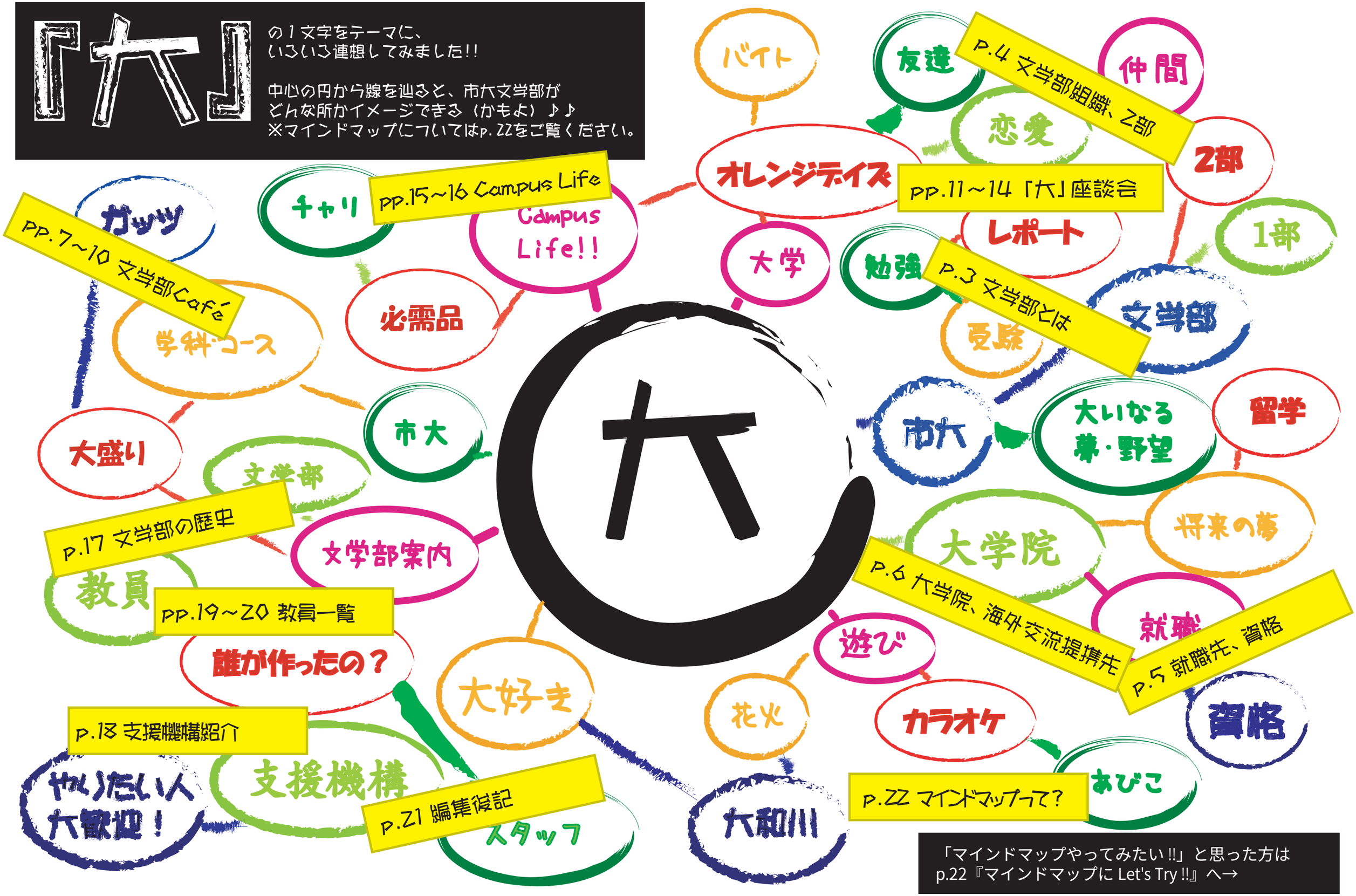
Q、大学生活？
A、大盛生活!!

大阪市立大学文学部
2008年

『大』

の1文字をテーマに、
いろいろ連想してみました!!

中心の円から線を辿ると、市大文学部が
どんな所かイメージできる（かもよ）♪♪
※マインドマップについてはp.22をご覧ください。



「マインドマップやってみたい!!」と思った方は
p.22『マインドマップに Let's Try !!』へ→

ことば・考える・人間——文学部とは……

ことば……ぼくらの生活に欠かせないものはなんだろう？　空気、水、たべもの、お金、友だち、恋……。いや、たぶん、それは、《ことば》だ。ぼくらは、まいにち《ことば》を使う。《ことば》を話し、聞き、書き、読む。そうやって、他人とつながり、他人とくらしている。《ことば》はすばらしい。けれど、ときに《ことば》は人を傷つける。《ことば》とはなんだろう？　文学部では《ことば》を学び、追求する。《ことば》を深く読み、《ことば》によって考えるのだ。

考える……そう、ぼくらは《考える》。ぼくらは、どうしてこんなふうにふるまうのか？　ぼくらの社会は、どうしてこんなふうにできているのか？　ぼくらの文化は、どうしてこんなふうになりたっているのか？　ぼくらは《考える》方法も《考える》。どう考えればよいのかと《考える》。文学部では、《考える》ことを学び、追求する。《考える》ことで新しい見方を手に入れるのだ。

人間……いうまでもないことだけど、ぼくらは《人間》だ。《人間》だからこそ、《ことば》を使い、《考える》。《人間》とはなんだろう？　どうしてぼくらは生きているのだろう？　けっきょく、ぼくらの問いは、《人間》を学び、追求することになる。そしてその問いは、ぼくらが《人間》だから生まれてくる。

だから、ぼくらの問いは、永遠につづく。だって、ぼくらは《ことば》で《考える》《人間》で、それをやめるわけにはゆかないからだ。

文学部長　谷 富夫

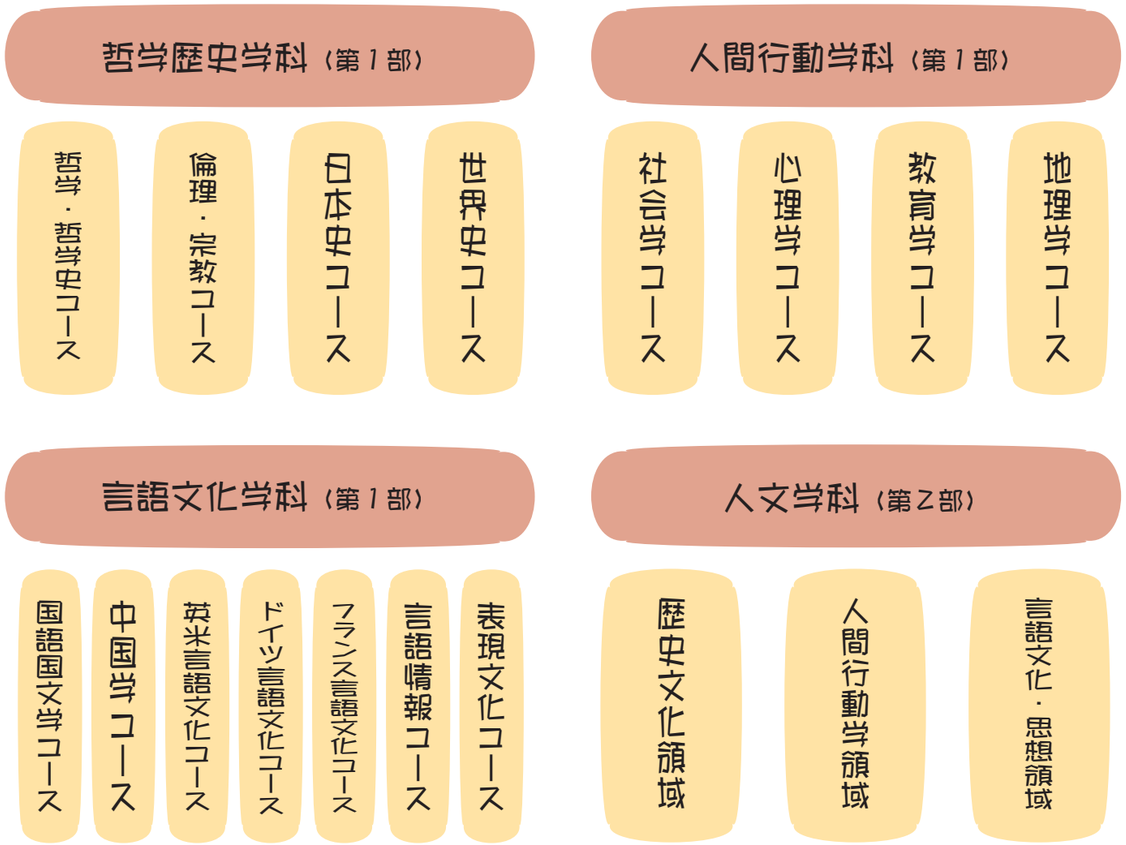
文学部で教員や学生が行っている学問研究の分野は、大きく二つに分けることができます。一つは人文科学などと呼ばれるもので、日本や中国や西洋で人間の普遍的な教養として重視され、古くから大学の基本科目とされてきたものです。これには、人間とこの世界を理解するための基礎的な学問としての哲学、人間がさまざまに考え行動してきたその過程やその意味を考える歴史学、人間の喜怒哀楽や希望や挫折を考え、いかに生きるべきかを模索した人々の文学作品や記録を対象にした文学研究、文化の基礎としての言語の研究があります。

いま一つは近代以降に成立した学問分野で、経験科学の方法を用いて、人間行動を基礎から理解しようとするものです。これには、あらゆる社会領域に遍在する人間関係と集団を研究する社会学、人間の心の働きの仕組みを解明する心理学、人間がより人間らしく成長してゆくための学習や社会制度の問題を考える教育学、人間の生活する地表面の「空間」や「景観」のなりたちとしくみを研究する地理学があります。

文学部は文学を学ぶところと世間一般では思われているようです。たしかに文学研究は文学部の重要な柱の一つには違いありません。しかし上述のように、文学部は多方面の学問を網羅しています。それらは、人間と、人間が生み出した文化と、人間によって成り立っている社会を、基礎から理解しようとするところに共通点があります。基礎から理解するとは、人間にとって幸福とはどのような状態のことか、人間にとって意味のある文化とはどのような文化か、人間が生きるに値する社会とはどのような社会か——これら万人にとって人生の根底となる問いを追究するという意味です。

現代は、私たちを大きな力で押し流そうとする「激流」にたとえることができるでしょう。その流れの方向に、産業化、都市化、グローバル化、情報化、少子高齢化、環境劣化などがあることは、誰の目からも明らかです。私たちの人生は、これらの激流に浮かぶ小舟のようなものです。したがって、流れに翻弄されず、沈没することなく、自在に漕ぎきるためには、足腰をしっかり鍛えておかなければなりません。文学部で人間・文化・社会について基礎から学ぶ究極の目的は、私たちが未来に向かって自由に生きるために必要な理性と感性を磨くことにあるのです。

大阪市立大学文学部の組織



第2部人文学科

第2部人文学科は2005(平成17)年4月に生まれました。それまで5年かかっていた第2部を、4年間で卒業できるようにあらためました。

人文学科は3つの専門領域からなりたっています。歴史文化領域は、日本・アジア・西洋の地域文化を歴史学、文化人類学などの視点から複眼的に学びます。人間行動学領域では、社会学・心理学・教育学・地理学を広く学ぶことにより、人間の行動の本質にせまります。言語文化・思想領域では、日本・東洋・西洋の文化と言語、思想の伝統を学び、思考力、理解力を養います

各専門領域には2年次からわかれますが、定員はありませんので、希望する領域に自由に所属して研究することができます。特定の専門分野を掘り下げて学習することも、複数の分野を幅ひろく横断的に学ぶことも可能です。指導する教員は第1部と同じですので、よりいっそう少人数で、きめ細かな指導を受けることができます。第2部独自のユニークな科目も多く提供されています。

なお、人文学科では、高等学校教諭1種免許状(地理歴史・公民・国語)、中学校教諭1種免許状(社会・国語)、博物館学芸員資格を取得することができます。

A、１回生のみ担任がいて、相談に乗ってくれます。クラスはありませんが、コースがクラスみたいなものになります。

文学部の就職先・資格一覧

2007(平成19)年度

大学院	大阪市立大学、京都教育大学、北陸先端科学技術大学、早稲田大学
公務員･教員・学芸員	高知県立美術館、中学講師、高校講師、大学講師、大阪国税局、東京国税局、名古屋国税局、郵政公社、名古屋市役所、堺市役所、福知山市役所、国立病院機構
銀行･金融	三井住友銀行、池田銀行、三井住友カード、三菱東京UFJ銀行、兵庫県信用組合、みずほファイナンシャルグループ、ジェー・シー・ビー、山陰合同銀行、関西アーバン銀行
保険	三井住友海上、東京海上日動火災、損害保険ジャパン、住友生命すみれい営業部
放送・広告	ビーワイルド、進研アド、シグナル広告、リード
百貨店･小売	紀伊國屋書店、イオン、徳岡
出版･印刷	集英社、日本写真印刷、大日本印刷
情報処理･ソフトウエア	アクセンチュア・テクノロジー・ソリューションズ、三菱電機住環境システムズ、紀陽情報システム
住宅	サンゲツ、シード、サンキョウ・エナジー、近鉄不動産、旭化成ホームズ、大林組、住友不動産販売、インテック
教育	ティエラコム、日本公文教育研究会、イーオン、原塾、成基コミュニティ
医薬品	田辺製薬、コバショウ
その他サービス	ダスキン、NI帝人商事、西日本高速道路、WIPジャパン、生活共同組合おおさかパルコープ、大阪ガス、JA岸和田、天理教教会本部、春日大社、ゆこゆこ
食料品	ネスレ日本、サッポロビール、日清食品、カゴメ、山崎製パン、ヒノマル、テンポス・バスターズ、すかいらーくグループ、あきんどスシロー
旅行	阪急交通社、名鉄観光サービス
繊維・アパレル	ナルミヤ・インターナショナル、西尾呉服店、第一紡績株式会社、ユニ・チャーム
その他製造	東レ、村田製作所、松下電工、日本パワーファスニング、デジタルビジョンソリューション、大八化学工業、富士通中国システムズ、オムロン、リコー関西、三つ星ベルト、日立製作所、奈良リコー、ＮＥＣ、三菱重工業、石川島播磨重工業、ダイキン工業、大阪日産、プラスエス、ノーケン

2006(平成18)年度

大学院	大阪市立大学、龍谷大学、早稲田大学、東京大学
公務員･教員	大阪府、鹿児島県、馬頭高等学校、愛知県、蒲郡市、裁判所、和歌山県警、奈良女子大学、東京国税局、大阪国税局、京都労働局、大阪税関、国立国会図書館、奈良労働局、兵庫社会保険事務所
銀行･金融	SMBC融資事務サービス、大和証券、南都銀行、泉州銀行、中国銀行、姫路信用金庫
保険	損保ジャパン、日本生命保険相互
放送・広告	テレビ大阪
百貨店･小売	エルメスジャポン、紀伊國屋書店、イズミヤ、阪急百貨店、近鉄百貨店
出版･印刷	偕成社、中央出版、不二印刷、毎日コミュニケーションズ、ゼネラルアサヒ
情報処理･ソフトウエア	NTTシステム開発、紀陽情報システム、カプコン、シーイーシー、伊藤忠テクノサイエンス
コンサルタント	ライフステージ、ゼンリン、パスコ、野村ビジネスサービス、バンタンビジュアル研究所
住宅	旭化成ホームズ、スウェーデンハウス
教育	日進、河合塾、ELBEC
医薬品	アストラゼネカ、武田薬品工業
その他サービス	日本KFC、カルチュア･コンビニエンス･クラブ、関西電力、住金物産、京阪電気鉄道、TSUTAYA STORES ホールディングス、マルハン、イオン、USEN、ファースト、WDB
食料品	フジオフードシステム、シノブフーズ、味の素
旅行	農協観光、ANAセールス
繊維・アパレル	イケテイ
その他製造	日立製作所、富士製薬工業、フジックス、リンナイ、エレコム、ダイセル化学工業、クマリフト、三洋電機、マキタ、三栄源エフ・エフ・アイ

取得可能資格

第1部	高等学校教諭1種免許状〈地理歴史、公民、国語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語〉 中学校教諭1種免許状〈社会、国語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語〉 学芸員〈博物館学芸員資格〉 社会調査士 認定心理士（心理学コース学生のみ）
第2部	高等学校教諭1種免許状〈地理歴史、公民、国語〉 中学校教諭1種免許状〈社会、国語〉 学芸員〈博物館学芸員資格〉
大学院	高等学校教諭専修免許状〈地理歴史、公民、国語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語 中学校教諭専修免許状〈社会、国語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語〉

Q、外国に行きたいのですが。

大学院文学研究科――さらに勉強したくなったら……

学部の4年間で学んだことをさらに深めたい人や、勉強することのおもしろさに目覚めた人は、ぜひ大学院に進んでください。大学院文学研究科には、それぞれのコースにつづく3学科15専修が置かれており、きめ細かい指導で、みなさんの学習・研究をサポートしています。また、大学院のみに置かれたアジア都市文化学専攻は、アジアの都市・大阪から、都市と文化を研究しています。大阪市立大学の文学研究科は、文部科学省の21世紀COEプログラムにも選ばれた、伝統と実績のある大学院です。

大学院は前期博士課程（2年）と後期博士課程（3年）ですが、近年は、後期課程を修了し研究者をめざす人だけでなく、前期課程修了で就職する人も増えています。

海外提携先――世界とつながろう……

文学部・文学研究科では、さまざまな海外の大学や研究機関と交流協定をむすんでおり、学生や研究者の交流がおこなわれています。文学部独自の交換留学制度(フランス：リヨン第3大学、セルジー・ポントワーズ大学）や短期語学研修制度（フランス：セルジー・ポントワーズ大学、中国：華東師範大学、イギリス：シェフィールド大学）もあり、たくさんの学生が海外の学習を経験しています。

Café de la Faculté des Lettres et des Sciences Humaines

文学部カフェ

A la carte de la Faculté des Lettres et des Sciences Humaines

（文学部のアラカルト）

哲学歴史学科

「驚きの大盛り」

…￥哲学・哲学史コース

世界には「驚くべき」ことがたくさんある。私たちが存在すること、何かを知っていること、何かを美しいと思うこと、心を持っていること、自由に行為していること……。これらのうちで一つでも簡単に説明できることがあるだろうか？過去の哲学者たちはこれらのことを「驚くべき」熱意と厳密さを持って探求してきた。そのような哲学者たちの思考を辿り、時には批判しながら研究を進めることによって、「驚くべき」論理的思考能力が身に付くはずだ。

「自分の大盛り」

…￥倫理・宗教コース

倫理学では「私たちはどのように生きるべきなのか？」「人生に意味はあるのか？」「絶対に正しい価値はあるのか？」という問いを、宗教学では「神は存在するのか？」「生と死はどのような意味を持つのか？」「私たちにとって宗教とは何であるのか？」という問いを研究します。道徳や価値、生と死、宗教などは人間、つまり「自分」を理解するうえで不可欠のものです。倫理学・宗教学を研究することによって、「自分」の生き方を真剣に考えることができるはずです。

「パフェの大盛り」

…￥世界史コース

パフェはひとつのきれいな入れ物にはいってます。でも中身はクリームやらフルーツやらいろんなものできれいにトッピングされてます。世界史も一つのコースと言っても、地域はアジアやヨーロッパなど、時代は昔から今までと幅広いです。またどんなことを対象にするかは多種多様ですし見方を変えれば違う一面も見えてきます。
パフェみたいにいろんなものを組み合わせて勉強するのが世界史コースの特徴です。

「探求の大盛り」

…￥日本史コース

日本史コースでは、高校までの暗記科目とは異なり、ある物事が歴史の中で持つ意味を、史料に基づき自分で考えて、自分なりの答えを出す方法を学びます。また、本コースは教員、学生の交流が非常に盛んです。夏にはコース総出で教員、学生が協力して計画を立てて調査合宿を行なっています。春と秋には世界史コースと合同で教員と学生が企画する遠足や研修旅行も実施しています。こうした行事の時などに懇親会もよく開催しています。

人間行動学科

「コロッケの大盛り」

…￥社会学コース

いろいろな個人（ミンチやタマネギなどの具材）が何かしらの絆（卵）で繋がり、大きな社会（コロッケ）を創る。しかし、表面（衣）だけを見ていては、中の味は解らない。社会（コロッケ）には様々な種類があり、社会（コロッケ）ごとに違った味わいがある（カレーコロッケ、かぼちゃコロッケなど）。コロッケを箸で割り、味わうことで、「そのコロッケがどのような味か」「具材は何か」を探る学問、それが社会学である。

「地球上の大盛り」

…￥地理学コース

高校までの暗記地理とは全く異なる、学問としての地理。地理「学」は、空間・場所・領域などの概念を用いて、地球上のあらゆる現象を政治・文化・経済など様々な角度から分析します。フィールドワークを実施し、実際の場所における調査を重視することも特徴。事件は現場で起きています。また、市大地理学教室では国内研究のみならず海外研究も非常に盛ん。さぁ、真実を知る調査に出かけましょう。土地（geo）を記述する（graphy）学問、地理学へようこそ。

「肉じゃがの大盛り」

…￥教育学コース

教育学…例えるなら肉じゃが！
定番のおかずで、誰もが知っている「肉じゃが」のように誰もが経験している「教育」をテーマに少人数で学べます。アットホームで親しみやすい先生方、旅行などの行事もあったかくておいしいです。日本の教育は今、変化していますが、本当に身につけるべき学力とは何なのか、どのような教育が必要か、さまざまな授業・体験から「我が家の肉じゃが」＝自分なりの教育観・考え方を見つけてみませんか？

「フルーツの大盛り」

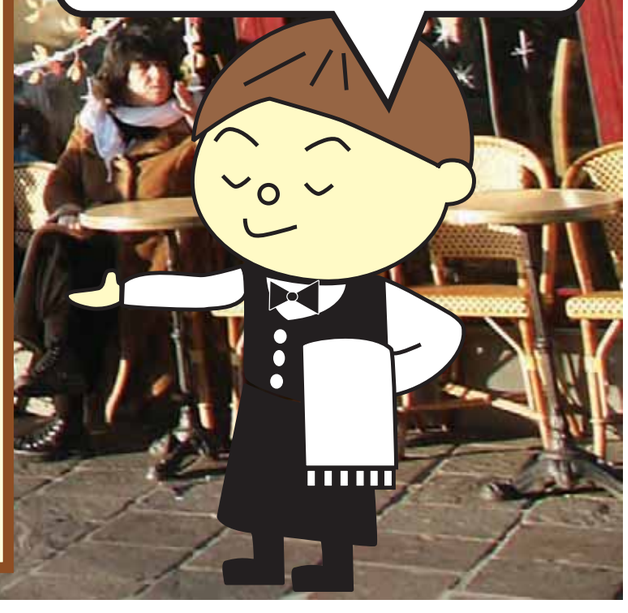
…￥心理学コース

心理学とは、人や動物の行動や心の働きを学ぶ学問です。市大心理学という大きなフルーツバスケットには、さまざまなフルーツ（市大心理学コース内のゼミ）が詰め込まれています。例えば、社会心理・性格心理・学習心理・生理心理・発達心理……。それぞれのフルーツには、それぞれの味があります。一度お試しあれ!!

Café de la Faculté des Lettres et des Sciences Humaines

文学部カフェ

ご注文はお決まりでしょうか？市大文学部には、ご覧のとおり3つの学科に15のコースがございます。1回生でじっくり選び、2回生から選択した専門コースを深く味わっていくことになります。その内容は各種各様、必ずやご満足頂けることと思います♪
ご来店頂ける日をスタッフ一同、心よりお待ちしております！！！！



言語文化学科

「浪漫の大盛り」
…￥国語国文学コース

(タイトル)うゐのおくやまけふこくぶん
(本文)**こ**だいからげんだいまで／**く**まなくはばひろく／**ぶ**んがくもことばのことも／**ん**なことまで!?って／**き**ょうがくするくらい／**よ**くぶかく／**う**っとうしいくらい／**し**つように自分の興味が／**つ**きるまで／**は**つらつとした若い気持ちで／**い**ろんなことが学べるよ／**い**っぱい行事もあるよ／**と**きには運動会までしちゃいます☆／**こ**ころのふるさとにっぽんの／**ろ**まんあふれることばと文学／**こ**いしくなったらここへおいで／**く**らっとするほど魅力的／**ご**くらくよりも楽しいところ／**こ**くごこくぶんがくこーす／**く**るしいはずの人生で／**ぶ**きになるような強い力を／**ん**ーとたくさん身につけよう!／**へ**んてこだけどすてきなコース生たちと／**ぜ**んこくでもゆびおりの／**ひ**ぼんな先生たちが／**き**らきら輝く瞳と白い歯で／**て**いちょうに／**ね**つれつに歓迎します(はあと)

「ソーセージ大盛り」
…￥ドイツ言語文化コース

ドイツの有名な食べ物といえば、やっぱりソーセージ!ドイツのソーセージは炭火で焼き上げていて、外はぱりっ!中はジューシー☆とっても家庭的な味です。独文コースもまさにそんな感じ(笑)ドイツってちょっと取っ付きにくいかもしれないけど、実は英語とよく似ているし、留学制度も充実しているので上達しやすいんです!授業ではグリム童話を読んだり、ドイツ映画を見たり♪比較的少人数なのでみんな仲が良く、遠足やパーティーなどをしてすごくアットホームです☆一度食べたらやめられない!中味が詰まったソーセージの大盛り、ちょっと味見してみませんか?

「あたりの大盛り」
…￥中国学コース

私たち中国学コースは、授業中に当たる回数が大盛りであります。というのは、中国学コースに所属する学生数が少数だから、一人あたりの当たる回数が必然的に増えるからです。先生と中国学コース所属ひと学年の学生の割合がだいたい1：1です。その分演習形式の授業では内容の濃い勉強ができるのではないかと思います。ちなみに先生は皆さん優しいですよ。あとはお茶も大盛りです……。

「コミュニケーションの大盛り」
…￥英米言語文化コース

本コースの主な内容は英米文学と英語学。
「文学」は流行小説でなく、数百年間その国に残り、人々に愛されてきた作品。文学を知ることは、その国の根幹を知ることです。また、ことばはそれを話す人がいて初めて存在するもの。この世で最も人間と密接に関わるものだと言えます。よって、ことばにはそれを話す人の価値観・考え方が色濃く反映されているのです。
文学や語学を知ることで、人を知る。その先には多くの人々との豊かなコミュニケーションがあります。英米コースは、人を知る学問を行っています。

「オリンピックの大盛り」
…￥フランス言語文化コース

ＴＶに映る華やかな舞台。様々な種目が世界中の人々の眼を釘付けにして離す事はない。しかし、その輝きは長く険しく暗い道のりがあったからこそである。
眼に映る華やかなフランス。様々な分野、政治、モード、芸術、歴史、文学……が世界中の人々の眼を釘付けにして離す事はない。しかし、その輝きは長く（時間）濃く（密度）深い（精神）道のりがあったからこそである。
仏文でこの道のりを制覇し、本当のフランスを味わおう!
（※オリンピックの第1公用語はフランス語です）

「好奇心の大盛り」
…￥言語情報コース

『言語情報って何してるん??』という質問はよくされます。確かにコース名からは何をしているのかわかりにくい……授業をみてみても、パソコンを使う授業、手話に関係する授業、英語学もあれば、言語学もあり、他のコースと比べてみたら統一性はないかもしれません。でも、そこが言情の強みです。言葉に関係することなら何でもできます。ことばそのものに興味がある人にもオススメです。

「可能性の大盛り」
…￥表現文化コース

このコースでは、文学・美術・演劇・絵画・写真・映画などの芸術はもちろん、ファッション・漫画・笑い・ロック・歌謡曲・広告も研究対象として広く取り上げられる、というのが大きな特徴です。設立してまだ10年ですが、その分研究対象やアプローチ方法に対する自由度は高く、積極性があれば独自の視点や価値観を養えます。自分の「好き」を客観的に見つめなおして、学問研究のレベルまで深めてみませんか?

Bon Appétit !!

（皆さん、召し上がれ!!）

『大』座談会

大学生活って楽しそうだけど、高校生の皆には謎な部分も多いのではないでしょうか。
1回生の生活って？コースはどんな感じ？大学の先生ってどんな人？
そんな疑問を解消すべく、先生・先輩たちが“大”をテーマに語り合ってくれました。
会話の中には、充実した毎日を送るためのヒントも隠されているかもしれませんよ！
それでは“大”座談会、スタート!!

まずは自己紹介をそれぞれお願いできますか？

ヨシ：教員代表です。フランス言語文化コースの福島祥行です。
レイコ（以下、レイ）：3回生の人間行動学科社会学コースの小笠原令子です。
ゆみか（以下、ゆみ）：文学部3回生の哲学歴史学科世界史コースの寺村ゆみかです。
ダイ：文学部4回生の言語文化学科フランス言語文化コースの大山大樹と申します。
たっチャン（以下、たつ）：文学部１回生の山本達也です。
ヤスノリ（以下、ヤス）：大学院代表になりますね。人間行動学専攻地理学専修、田中靖記です。

「大好きなもの・こと」。市大文学部に所属して、そこで出逢ったものに関してお願いします。

レイ：私は……友達かな。
ヨシ：大学の友達は、かなり長く、一生モノになりますよ
ヤス：中学高校なら、同じ空間で同じ時間を過ごすけど、大学はまず決められた時間割がない。その中で、人間関係のネットワークが広がっていくのが大学のやり方かな。
ダイ：大学の友達は一回逢うともう仲良くなるし、その仲が続くことも多い。一回一回の出逢いが濃いというか……一年ぶりに逢っても仲がいいっていうか。大学の方が出逢いに刺激がありますよね。
たつ：そうですね。想像していたよりもみんなフレンドリーで。教授も院生も。大学ではそれぞれが自分のやりたいことを一生懸命やっているから、人付き合いがさらに面白いし、友達が増えれば増えるほど自分の知らなかったものが見えます。

続いて、市大文学部の醍醐味ってなんでしょう？

ゆみ：私は今歴史を勉強しているんやけど、時間的な視野も空間的な視野も広がるから、それが今歴史を勉強している醍醐味やと思います。意外なこと、今まで自分が思っていたものと違うのばっかり出てくるから、コロコロ自分の中でどんどん知識が新しくなっていくし、視野が広くなるから。

ヨシ：言語文化の醍醐味は、外国や昔の言語と文化を一緒に学ぶことで、物事を複眼的に見られるようになることですね。文化を学ぶことで外国にもいろんな外国があるってことをまずは知ってほしい。外国語を学ぶことで視野を広げられる。文学では、いろんなの姿を知ることができるわけで、ダイくんはそれに自分を重ね合わせているわけやけど。

レイ：私の専攻する社会学も視野を広げられるという点で同じですね。個人じゃなくて社会単位での現象がどんな風に起こっているのか、その関連性を見るんで、様々な角度からの物事を知ることができるんです。社会学は問いが基本になっていて、普通に街を歩いているだけでも問いはいっぱいあるんですよね。そういう自分と関係ないと思っていたところでも実はどれも社会と関係しているって気づかされる場面というのがこの学問の醍醐味ですかね。

ヤス：どんなものにも成り立ちや変遷があって、人間行動では「心理学」「社会学」「教育学」「地理学」という４つの切り口で社会の裏側を探っていくっていう、非常におもしろいプロセスやと思います。僕は修士論文でドイツの研究をしています。なぜ日本ではなくドイツの街を研究しようと思ったかというと、日本とは全てが違っている、新しいものをみて、その場所に人がどうやって暮らしているのか、実際何を考えているのかを深く見ることで、新しい発見が生まれてくるんじゃないかと思っています。

「大恋愛（学問に関して）」。みなさん、自分の専攻している学問に愛を感じているようですが。

ゆみ：歴史クンのどこに惹かれたかっていえば、歴史の謎や未知なる部分で。歴史って浪漫で。その浪漫から大学に入ったけれど、本当の歴史を、真実がどうだったかを学問的に研究するにつれて、謎が謎じゃなくなったり、当たり前に思っていたことが謎になったりする。それが今は楽しい。

お付き合いを楽しんでいるということで。

ゆみ：とても順調です!!(笑)
一同：(笑)

1回生はどうですか？専攻は2回生で決まるんですが、先輩の愛を聞いてどう思いましたか？

たつ：高校のときはやりたいことが漠然としか決まっていなくて、大学入って何を勉強しようか迷っても、１回生の間にいろいろな人と出逢っていろいろな経験を積めば、コース決めるときに十分自分がなにやりたいか見えてくると思う。先輩や教授の話を聞く機会もあるから、そういうのに積極的に参加していけば十分、大学入ってからでも学問と大恋愛できるんじゃないかと。

それ以外に、大学で大切なことって何でしょう？

レイ：大学に入って一番つらかったのは、全ての責任が自分にかかってくるってことですよね。高校のときはクラス単位で先生が自分らの面倒を見てくれてたけど、大学に入ってからは、もう大人としてみなされる。だから大切なのは、責任をもって行動することですね。あと、自分の意思で行動する、意思決定も重要かな。
ヤス：高校までって「校」ってついているのに、大学にはついていないですよね。それは何故でしょう。
レイ：何でですか？
ヤス：何でなんでしょうね(笑)。私は「Schoolではない」っていうところが大きいと思います。つまり、教育を受ける場所ではない。大学は、授業を受けるというよりも、自分の興味によって本を読んだり、教員に自分から話を聞いたりして、主体的に行動すべき場所なんじゃないかな。

A、授業にちゃんと出て、試験や課題をクリアすると獲得できるポイントのようなものです。

ヨシ：基本的に大学というのは、自分で決めて、自分で責任をもって、自分で主体的に動ける場所。これは権利ですよね。でもこれを行使しなければ、何事もなくほぼ4年間つつがなく一応たいてい卒業できるけど、何も得ることないまま卒業することになるんでなるべく実り多い4年間を過ごしてって思いますね。就職してからもういっぺん勉強しとけばよかったって人がなんぼほどおることか！(笑)

ゆみ：そう、今の自分がいる環境がものすごく大切。大学は高校と違って環境がコロコロ変わっていくから、この環境の中でできることや、やりたいことをやっていくことがすごく大事。

レイ：今の一瞬一瞬が大事、みたいな？

ゆみ：そう！！

ダイ：環境が変わるって言うのは確かにそうで、「自分の今の環境で別にいいや」と自分で限界の枠を作ってしまった時点で、大学生活の可能性は消えてしまうのかなと思う。高校までなら、受験というひとつの目標があったけど、大学は自分で目標を決めるところだなぁと。自分が本当に楽しんでいるのか、自分がどうやって楽しむのかを常に考えながら、限界を決めずに頑張ったら大学生活は充実したものになると思います。

ヨシ：就活とかで「大学時代に何をやりましたか」って聞かれた時に、力をこめて説明できるくらいのことをしていてほしいな。それは勉強でもサークルでもバイトでも何でもいいんだけど。

自分の中での事件は何かないですか？大学在学中であればいいものも悪いものも。

たつ：僕は1回浪人してるんで、浪人時代に周りから「大学めっちゃ暇やで」って話を聞いてて「大学てそんなもんか」って思ってたんです。でも入学して、「暇か暇じゃないかは、全部自分次第」って気づいて。自分からやろうって思ってやり始めたことは、おそらく最後までできると思う。だから、やるっておもったことは全部やったらいいと思うんですね。成長の幅は必ず上にあるから。そういった自分の価値観・ものの考え方が変わったってのが一番でかいです。

ヨシ：教員にとっても、学生との出逢いは大きくって。毎年１回生を持たせてもろてるけど、これも財産で。今でも何人かは連絡があります。語学でフランス語を教えるから、他のコースに教え子が散っていって、他のコースのことも詳しくなったり。私にとってもプラスですね。

それでは、ちょっと広げます。「大いなる夢と野望」

ヤス：僕の野望は…野望と言われるとまだ悩んでいるんですけど。理想では、サッカーが好きで、大学時代のスケジュールもサッカー中心だったから、仕事とは別に、一生サッカーに関わりたいですね。趣味を大切にして、楽しんでいたい。

レイ：私の夢、というか目下の目標は……人間性に関してなんですけど……全体を見渡せる視野をもって、周りの気持ちを読める人になることですかね。さりげなく仲間を見渡せて、隠れた気持ちを察して、気づかれないようにフォローするっていう。こんな活動を通して改めて感じるようになったことなんですけど、そういうのってやっぱりなかなかできないことだなって。でもどうにか、よりよい空気を「創る」側の人間になれるよう努力していきたいですね。

たつ：将来ってなると遠いし、まだどうなるかはわからないけど、大学でいろんな人と出逢いたいから、まずは文学部のなかで全員に存在を知ってもらおうって。1回生で文学部を制覇して、それから学部も年齢も大学も越えたいと思います。

ダイ：この歳になって「生きる意味って何だろう」ってよく考えるんですが、今の答えは「自分が活動を起こすことで、その人が元気になったり夢を見せたい」そんな素敵な人間になりたいってのが理想像です。そのために、常に自分を客観的にみて、自分が自分を楽しませることで、他の人も楽しませたい。

ヨシ：いいですねーみんないろんな夢があって(笑)。もちろん、いろんな夢が僕にもあるけど、夢をなくさないことが夢ですね、今のところ。長いこと生きていると、人生いろいろ大変なんですよ。あなたたちにはまだまだ100%の可能性とともに、100%の苦労もやってくると思うんやけど。それでも、いかにこう夢の種を残していくかってことがあります。学生たちに説教するオッサンにはなりたくないけれど、暖かく見守る爺さんになりたい。一方で、頑固ジジイになって学生に乗り越えさす壁になるのもいいかなって思ったりもするんですが。

「大きな人になる」大きな人って自分にはどんな人か。

ゆみ：今身長伸ばしたいんですけど、そういうことじゃないですよね？

一同：(笑)

ゆみ：大きな人っていうか、私はいつもわくわくできる人間になりたい。どんなことであってもいつもそれを楽しめるようにして、どきどきわくわくできるような人になりたい。

ダイ：激しく同意します。

ヨシ：大切なことですよね。人生何事もね。

ヤス：「大きな」っていう言葉のままで言うと、キャパシティの大きな人間になりたいなって思います。

ダイ：同意します。興味があったらすぐ飛びついてしまって、いろんなことに関わっちゃうんですよね。

ヤス：そうそう。それは楽しいけど絶対的な時間が足りなくて。でもやめたくないんですよね。楽しいし。成長の実感もあるし。そのためには、やっぱり自分の処理能力やアンテナを鍛えるしかないかなって思ってます。だから許容量の大きな人間になりたいですね。

レイ：お二人ともすごいアクティブですよね～いつも尊敬してます。私もそんな風にもっと常に自分の意志でいろんなところへ動ける人間になりたいです。さっき言ったことにもつながるんですが、大学生活の中にはなんでもできるという可能性の中に、なんにもしないという選択肢も含まれてるんですよね。大学は自由って言われるけど、自由には大きな責任が伴うっていうのは入ってからほんとに思ったことで。

Q、学内に食堂はいくつあるの？

責任の伴う意志決定ってすごく怖いですから、臆病にもなります。でもだからって何もしない状況に甘んじてしまっていたら何も始まらない。今私がこんな活動をしているのは流されての部分もあるんですが（笑）、しんどいことはあってもやることを選んだのは自分だから、後悔はできないし、したくないです。何よりもやりがいの方を多く感じていますし時には流される方を選んだりしながらも、常に物事を選択していくという姿勢で生きていけたらなと思います。

たつ：自分が知らないことを自分で見つけられる人になりたい。そのためには、いろいろな人と接しないと全然見えてこないし、狭いところだけじゃなくて広い視野を持った人になりたいです。

ヨシ：大きな人は、本人は大きいと思っていないわけですよ。だからなろうと思ってなれるわけではなくて、結果的になっているっていう。それぞれが思っていることをクリアしていけばすごく大きな人になっていると思いますよ。寺山修司の「二十歳」って詩を紹介してもいいですか？これはラジオドラマで吉永小百合が二十歳のときに演じたんやけど、そのラストで次のように言っています。

私は学校の先生にも女大臣にも、大芸術家にも
なりたいとは思っていませんでした。
女流探検家にもデザイナーにも
なりたいと思っていませんでした。
私はただ「質問」になりたいと思っていたのです。
いつでも、なぜ？　と問うことのできる質問、
決して年老いることのない、
そのみずみずしい問いかけに……

ヨシ：これ、たっチャンもレイちゃんも言っていたけど、常に自分の磨り減らない何かを残していくということですね。

ダイ：難しいですよね、エネルギーとして

ヨシ：途中で折れたり凹んだりするのは、それはありだというかないはずがないので。そんなの3回くらいあってもぜんぜん問題が無いから。

ダイ：3回で終わるかどうかですけど(笑)

ヨシ：じゃあ……七転び八起きで(笑)

司会・進行：林、皿谷

杉本町

enjoy

Campus Life

With ダイちゃん

「市大文学部に入学したらどんな毎日が待っているの?」
そんな疑問と不安を解消すべく、「市大は俺の庭」と公言するダイちゃん（市大やしの木在住）がキミたちに３回生時代の１日を案内してくれるよ!!

そこに待ち受けるは輝けるキミの未来!!
羽ばたけ!!　大空への大冒険☆★

学術情報総合センター（通称：学情）には雑誌や新聞も置いてあるので、休み時間には多くの学生が集まる。１階ロビーは待ち合わせ場所としても利用されている、市大の象徴かつ中心地。

①

9:00

１限目は全学共通教育棟で語学のＴＡ(Teaching Assistant)をする。

ダイちゃんの３回生前期の時間割
※授業風景は水曜の１限と４限のものです。

月	火	水	木	金
	言語応用論	フランス語（ＴＡ）		日本史の見方
		文化とコミュニケーション		
ゲームで学ぶ社会行動		フランス文化論	表現文化論	
フランス語学演習	フランス語（ＴＡ）	フランス語演習	日本史通論	
				大阪落語への招待

今日も一日
お疲れ様でした♪

オレはこの
場所が大好き♪
やしの木は市大
のシンボルだ!!

12:15

昼休みは食堂で弁当を買って、やしの木の下で食べる!
あ～南国（笑）

14:40

４限目は所属コースの専門授業
少人数制で質問がしやすい!!

③

②

①全学共通教育棟→全学部生が一緒に一般教養を身につけるための授業を行う場所。トイレが綺麗。
②１号館→全学部がそれぞれの専門授業を受ける場所。文学部は、この棟での授業が結構多い。
③文学部棟→文学部の専門授業を行う場所。

大学生活はイメージできたかな?
上にあるのが僕の３回生の時の時間割だよ♪時間割は自分で組み立てるから、空いた時間も上手に使おう!!
（遊び、勉強、サークル、etc...）
みんなで夢のキャンパスライフを
楽しもう!!

文学部の歴史

米軍占領下のキャンプ・サカイ

1号館、文学部棟、法学部棟

文学部棟

文学部は1953年に発足しました。今日までの歴史を振り返り、そして未来を展望してみましょう。

大阪市立大学の発祥は1880年にまで遡りますが、文学部は1949年に市立大学に創設された法文学部文学科を前身としています。12専攻（哲学、社会学、心理学、教育学、芸術学、歴史学、地理学、国文学、中国学、英文学、独文学、仏文学）、20人の教員スタッフでスタートし、翌年には第２課程（夜間）も設置されました。そして、1953年には、「産業大都市大阪には文学部の存在が絶対に必要」という恒藤学長の強い信念に支えられて、文学部が創設されました。スタッフも大幅に拡充して88名になりました。翌年には修士課程、その翌年には博士課程も設置され、第２次大戦後の新制大学としては異例の早さで大学院の充実がはかられました。しかし、当時は現在の杉本町ではなく、市内の西区や南区に講義棟などを設けていました。市大は敗戦後の連合軍の施設として接収され、米軍のキャンプ・サカイになっていたのです。

1956年に文学部は杉本キャンパスにもどってきました。文学部の拡充は続き、1968年からは5学科12専攻となり、大学院も整備されて旧帝国大学系を上回る規模のスタッフを有するようになりました。実学重視といわれる大阪の学問的気風のなかで異彩を放つこととなったのです。

その後、平穏を取り戻した文学部は、「新しい都市型総合大学としての市立大学の充実、国際都市・大阪の特性を生かした学術研究を進める」という大阪市総合計画21の指針にしたがって、次の展開へと歩みを進めました。その具体的な形は1990年代の画期的な施設整備に端的に現れています。日本一の規模を誇る、図書館と情報機能が総合された学術情報センター。さらに文学部のピンクの増築棟と、旧校舎の全面的改修。

組織もまた1999年に3学科15コースに改編され、新たに表現文化と言語情報コースが登場しました。2部も2005年に3専門領域からなる人文学科に改編されました。また、大学院の教育研究を重点化するべく、2001年から正式名称が大阪市立大学大学院文学研究科・文学部となりました。そして、2002年、世界最高水準の研究教育拠点を目指す文部科学省の「21世紀COEプログラム」に採択され、名実ともに全国の文学部の拠点大学として着実に実績をあげています。なかでも、他に類例をみないアジア都市文化学専攻が大学院に設置され、アジアへの太いパイプができることとなったのも大きなセールスポイントです。

IT関連の情報処理室、心理学実験室、地理情報システム（GIS）処理室、比較言語文化情報処理実験室、ガムラン実習室、音のデジタルアーカイブなど、ハイテク機器をふんだんに導入しながら、学部から大学院の博士後期課程までの一貫した教育研究環境が整えられています。学生の自主的な研究活動や就職活動を促進する「文学部・文学研究科教育促進支援機構」も発足しました。また、ハンブルク大学（ドイツ）、リヨン第３大学（フランス）、セルジー・ポントワーズ大学（フランス）、チュラロンコン大学（タイ）、ガジャマダ大学（インドネシア）、国立芸術大学（インドネシア）、華東師範大学（中国）、「恵光」日本文化センター（ドイツ）、ロンドン大学東洋アフリカ学院（イギリス）と学術協定を結び、共同研究を行っています。

大阪市立大学 文学部・文学研究科 教育促進支援機構
――あたらしい学びと育ちへの挑戦――

■ 教育促進支援機構とは

文学部50周年を契機として設立された「大阪市立大学文学部・文学研究科教育促進支援機構」は、学生（学部学生＋大学院学生）を主役とする、全国でも類を見ないユニークな組織です。教育促進支援機構は、学生の教育、研究、進路を支援すべく、5つのチームを擁しており、そこでは、学生の立案した企画が、学生自身の手によって――教員はあくまで縁の下の力持ち的サポート役――つぎつぎと実現されていっています。

■ 4 つの C

教育促進支援機構は、理念として、

- 社会に積極的に Commitment 可能な、その向上に寄与しうる人材を育てる
- 会員の Collaboration による
- Communication 能力を向上させ、新たな可能性を創発させる
- 学生の Career 形成を実現する

の「4 つの C」掲げています。じっさい、この教育促進支援機構の事業にかかわることで、学生たちは、おおきな成長をみせています。

■ 5つのチーム

● 教育支援

教育支援では、文学部生の教育環境をより良くするために、「新入生歓迎キャンプ」「先輩学生によるコースガイダンス」「教育相談」などによる、大学生活の基本的な部分の支援、そして、「外国語勉強会」などによる文学部生の主体的活動の促進、さらには、「TOEFL道場」「留学支援セミナー」「留学生との交流会」などの国際教育の支援にも力をそそいでいます。

● 研究支援

研究支援は、文学部生の自主的かつ主体的な知的探求創造の活動全般を支援しています。具体的には、学生が集まっての研究会や勉強会への助成、卒論に悩む人のための「卒業論文セミナー」や「レポート・セミナー」、大学院生がじぶんの研究を報告しあう「院生フォーラム」などの開催、書評賞、研究奨励賞、優秀卒論・修論賞の企画と審査などのほか、カフェ形式の交流会も計画中です。

● 進路支援

進路支援事業では、毎週「メールマガジン」を配信して、

就職や進学を目指す文学部生（大学院生も含む）に役立つ情報を提供したり、ほぼ月一回の割合で「文学部生向け進路支援セミナー」を開催し、自己分析法、面接対策、内定者体験談、就業体験講演など、みなさんが進路（一般就職・公務員・教員・大学院）を決定していく上での有効なアドバイスを行なっています。

● 編集

編集チームは、教育促進支援機構の機関誌『フォーラム人文学』の編集作業をおこないます。支援機構の活動報告や、優秀卒論・修論、各コース紹介など、文学部・文学研究科の活動を伝えるメディアを世に送り出すとともに、一冊の雑誌をゼロから作りあげる達成感や、出版編集実務のイロハを学ぶのにも最適の機会を提供しています。

● 広報

広報は、内外へ向けての、教育促進支援機構の宣伝、その事業普及のため、チラシやパンフレットを作成したり、公式webサイトの作成・更新や、各事業の記録（写真や動画）を行なうセクションです。もちろん、mixi やメーリングリストや壁新聞なども計画中です。

■ そして……

みなさんも、ぜひ、大阪市立大学文学部に入学して、じぶんの企画を実現してください。

大阪市立大学　大学院文学研究科　文学部　教員紹介

■哲学・哲学史コース

塩出 彰（シオデ アキラ）教授
プラトンおよびアリストテレスを中心とした古代ギリシャ哲学および倫理思想

中才 敏郎（ナカサイ トシロウ）教授
論理学を基本とする分析哲学の認識論、心身問題や人格の同一性などの心の哲学
📖『心と知識』勁草書房、1995

高梨 友宏（タカナシ トモヒロ）准教授
現象学的美的価値判断、京都学派の芸術論の研究
📖『美的経験の現象学を超えて』晃洋書房、2001

■倫理・宗教コース

美濃 正（ミノ タダシ）教授
現代英米哲学。特に倫理学、心の哲学、言語哲学、および科学哲学

仲原 孝（ナカハラ タカシ）教授
宗教と哲学の関係。カント、ニーチェ、ハイデガーを中心とする近現代ドイツの宗教哲学の研究

土屋 貴志（ツチヤ タカシ）准教授
倫理学、医療倫理学（現代医療に関する倫理的諸問題の研究）教授

■日本史コース

栄原 永遠男（サカエハラ トワオ）教授
古代の租税や物資・交易などの経済史、国家仏教の実態（正倉院文書の分析を通じて）教授
📖『奈良時代写経史研究』塙書房、2003

塚田 孝（ツカダ タカシ）教授
近世（江戸時代）の巨大都市である江戸や大坂のの民衆生活のあり方（都市法政、蔵屋敷、遊女、目明かし等）、和泉地域の寺院社会史
📖『歴史のなかの大坂』岩波書店、2002

仁木 宏（ニキ ヒロシ）准教授
中世～近世初頭の近畿地方を中心とする、都市や村落の歴史（京都、寺内町、城下町など）教授
📖『戦国時代、村と町のかたち』山川出版社、2004

岸本 直文（キシモト ナオフミ）准教授
前方後円墳を中心とする古墳および副葬品による古墳時代の政治・社会史

■世界史コース

中村 圭爾（ナカムラ ケイジ）教授
中国の三国・南北朝時代の政治・社会史（特に貴族制の分析）、金石・考古資料を活用した研究
📖『六朝江南地域史研究』汲古書院、2006

井上 徹（イノウエ トオル）教授
中国近世・近代史。宗教、民族、宗教を中心とする社会史
📖『中国の宗族と国家の礼制』研文出版、2000

早瀬 晋三（ハヤセ シンゾウ）教授
海域東南アジアの歴史（海洋民や小民族）、フィリピン・日本関係史
📖『海域イスラーム社会の歴史』岩波書店、2003

平田 茂樹（ヒラタ シゲキ）准教授
中国近世史（科挙・官僚制を中心とする政治構造の歴史）
📖『科挙と官僚制』山川出版社、1997

井上 浩一（イノウエ コウイチ）教授
ビザンツ帝国（東ローマ帝国）の政治と社会（皇帝・貴族から農民・市民にいたる諸階層が織りなす歴史）
📖『ビザンツとスラヴ』中央公論新社、1998

大黒 俊二（オオグロ シュンジ）教授
中世・ルネサンス期のイタリアおよび地中海世界の社会史、経済史
📖『嘘と貪欲』名古屋大学出版会、2006

中野 耕太郎（ナカノ コウタロウ）准教授
アメリカ現代史。国民意識の生成と福祉国家の展開

■社会学コース

谷 富夫（タニ トミオ）教授
都市社会学、民族関係論（大都市圏の民族関係に関する地域研究・生活史研究）、宗教社会学
📖『民族関係における結合と分離』（編著）ミネルヴァ書房、2002

進藤 雄三（シンドウ ユウゾウ）教授
理論社会学、医療社会学（ポストモダン論、医療専門職論）
📖『近代性論再考：パーソンズ理論の射程』世界思想社、2006

土屋 礼子（ツチヤ レイコ）教授
メディア論、歴史社会学（プロパガンダ研究、大衆ジャーナリズム、視覚メディアの歴史）
📖『大衆紙の源流』世界思想社、2002

石田 佐恵子（イシタ サエコ）准教授
文化理論、現代文化研究（メディア、ジャンル研究）、知識社会学
📖『クイズ文化の社会学』世界思想社、2003

木村 好美（キムラ ヨシミ）講師
計量社会学、社会階層論（高齢者の意識や行動と社会階層要因の関係）、社会調査法

■心理学コース

湯川 良三（ユカワ リョウゾウ）教授
発達心理学：認知、言語、記憶の発達、発達の比較社会文化的研究

伊藤 正人（イトウ マサト）教授
学習心理学：実験的行動分析、ヒトと動物の意思決定、セルフコントロールと衝動性
📖『心理学行動研究法入門：行動研究のための研究計画とデータ解析』昭和堂、2006

池上 知子（イケガミ トモコ）教授
社会心理学：社会的認知、偏見とステレオタイプ、社会的アイデンティティの国際比較研究
📖『社会的認知の心理学』（共著）ナカニシヤ出版、2001

辻本英夫（ツジモト ヒデオ）准教授
性格心理学：性格の構造の分析とその測定、行動の個人差と性格との関連、心理データ解析法

川辺 光一（カワベコ ウイチ）講師
生理心理学：学習・記憶現象の脳内機構、心と身体（脳）、行動と薬物

■教育学コース

細井 克彦（ホソイ カツヒコ）教授
教育計画の理論と実際、教育の法と行政および制度、現代日本の高等教育行政
📖『戦後日本高等教育行政研究』風間書房、2003

堀内 達夫（ホリウチ タツオ）教授
近代社会の教育、教育と雇用、キャリアの関係、技術・職業教育の国際比較
📖『新版　専門高校の国際比較』（編著）法律文化社、2006

湯浅 恭正（ユアサ タカマサ）教授
特別なニーズ教育、インクルージョン教育、生活指導の研究
📖『障害児授業実践の教授学的研究』大学教育出版、2006

添田 晴雄（ソエダ ハルオ）准教授
比較教育文化史、教育・学習における話すことと聞くことの研究、いじめ問題の国際比較研究
📖『世界のいじめ』金子書房、1998

■地理学コース

山野 正彦（ヤマノ マサヒコ）教授
文化地理学、景観論と地理思想の研究
📖『ドイツ景観論の生成』古今書院、1998

大場 茂明（オオバ シゲアキ）教授
日本・ドイツにおける都市政策の比較研究（土地・住宅政策、都市開発・再開発事業、居住形態の地域比較等）
📖『近代ドイツの市街地形成』ミネルヴァ書房、2003

水内 俊雄（ミズウチ トシオ）教授（兼担）
都市の社会問題・住宅問題の現状や歴史的経緯についての政治・社会地理学的研究
📖『空間の社会地理』（編著）朝倉書店、2004

山崎 孝史（ヤマザキ タカシ）准教授
グローバリゼーションや国際情勢の変化に対する地域社会の政治的反応。沖縄の政治地理学的研究

森 洋久（モリ ヒロヒサ）准教授
博物館工学、地理情報システム

■国語国文学コース

村田 正博（ムラタ マサヒロ）教授
古代の文学者（人麻呂や家持ら）は詩歌にどんな志を託したか、我々はいかにそれを受け取るか
📖『萬葉の歌人とその表現』清文堂、2003

丹羽 哲也（ニワ テツヤ）教授
現代語の意味と文法。日常我々が使っていることばがいかなる体系と豊かさを持ち、それが変化してきたか
📖『日本語の題目文』和泉書院、2006

小林 直樹（コバヤシ ナオキ）教授
中世の説話と説話集の研究。作品世界とその背景をなす文化的基盤
📖『中世説話集とその基盤』和泉書院、2004

久堀 裕朗（クボリ ヒロアキ）准教授
近世文学、主に人形浄瑠璃史の研究

■中国学コース

山口 久和（ヤマグチ ヒサカズ）教授
明清時代を中心とする中国近世思想史
📖『章学誠の知識論』創文社、1998

齋藤 茂（サイトウ シゲル）教授
唐宋文学を中心とした中国古典文学
📖『妓女と中国文人』東方書店、2000

松浦 恆雄（マツウラ ツネオ）教授
19世紀末以降の中国近現代文学、および演劇
『中国二〇世紀文学を学ぶ人のために』（編著）世界思想社、2003

岩本 真理（イワモト マリ）准教授
中国語の語彙、語法史研究。近世から現代に至る変遷、および江戸時代に日本人が学んだ中国語（唐話）との関連性

張 新民（チョウ シンミン）准教授
現代中国文化論、映画論

大岩本 幸次（オオイワモト コウジ）准教授
近世を中心とした中国語音韻学
📖『金代字書の研究』東北大学出版会、2007

■英米言語文化コース

市川 美香子（イチカワ ミカコ）教授
ヘンリー・ジェイムズを中心とする自伝・伝記文学、アメリカの小説（19・20世紀）
📖『ヘンリー・ジェイムズの語り――一人称の語りを中心に』大阪教育図書、2003

瀬戸 賢一（セト ケンイチ）教授
意味論、レトリック論、メタファー論（英語ということばが実際のコンテクストのなかでどのような意味を持つか）
📖『よくわかる比喩』研究社、2005

杉井 正史（スギイ マサシ）教授
シェイクスピアの喜劇を中心とするイギリス演劇（上演当時の政治・宗教との関係）
📖『シェイクスピア喜劇の隠喩的メッセージ』大阪教育図書、2000

田中 孝信（タナカ タカノブ）教授
ディケンズを中心とする近現代イギリス文学および文化
📖『ディケンズのジェンダー観の変遷――中心と周縁とのせめぎ合い――』音羽書房鶴見書店、2006

古賀 哲男（コガ テツオ）准教授
アメリカの詩およびポストモダン小説。北米の芸術・文化論

Ian Murray RICHARDS（イアン マレー リチャーズ）准教授
英語圏の文化研究（ことばと文化の関係）
📖 Dark Sneaks in: Essays on the Short Fiction of Janet Frame, Lonely Arts, 2004

岩田 彩志（イワタ セイジ）准教授
語彙意味論を中心とした形式と意味の対応に関する研究。構文文法
📖 A Lexical Network Approach to Verbal Semantics, Kaitakusha, 1998

■ドイツ言語文化コース

広瀬 千一（ヒロセ センイチ）教授
18・19世紀のドイツ演劇（ゲーテ、シラー、レンツ、クライストなど）、演劇論
📖『ドイツ近代劇の発生』三修社、1996

寺井 俊正（テライ トシマサ）教授
世紀転換期以降の現代ドイツ文学（特にホフマンスタールを中心に、詩・詩論・文学理論など）

神竹 道士（カミタケ ミチオ）教授
16世紀から今日までのドイツ語の変遷および文法理論の歴史的研究
📖 Johann Jakob Hemmer und sein Beitrag zur Verbreitund der neuhochdeutshen Schriftsprache in der Pfalz, Peter Lang Verlag, 1987

Kraus BLEX（クラウス ブレックス）准教授
ドイツ語教授法（DaF）および第二言語習得の研究
📖 Zur Wirkung mu"ndlicher Fehlerkorrecktunbren im Fremdsprachenunterricht auf den Fremdsprachenerwerb, Bielefeld, 2001

■フランス言語文化コース

中島 廣子（ナカジマ ヒロコ）教授
19世紀から20世紀の初頭にいたる世紀転換期の文学・文化。想像力の文学としての幻想文学・SF
📖『「驚異」の楽園』国書刊行会、1997

Pierre LAVELLE(ピエール ラヴェル)教授
日仏両言語圏の言語および文化比較。日本近代史
📖 Occitanie: Histoire politique et culturelle, Institut d'E'tudes Occitanes, 2004

津川 廣行（ツガワ ヒロユキ）教授
ジイド、ヴァレリー、プルースト、クローデルを中心としたフランス20世紀小説およそ思想、フランス音楽論
📖『象徴主義以後――ジイド、ヴァレリー、プルースト』駿河台出版社、2006

福島 祥行（フクシマ ヨシユキ）准教授
コミュニケーション研究、フランス言語学、現代フランス社会研究、コンピュータを用いた仏語教育方法論、劇場論

■言語情報コース

衣笠 忠司（キヌガサ タダシ）教授
日英比較を中心とした言語構造分析および言語情報（コーパス）に基づく語法研究
📖『語法研究と言語情報』英宝社、1998

関 茂樹（セキ シゲキ）教授
言語にみられる形式と意味との対応関係を機能的観点から研究
📖『英語指定文の構造と意味』開拓社、2001

井狩 幸男（イカリ ユキオ）准教授
乳幼児の母語獲得のメカニズムの研究、およびその成果の第二言語習得への応用研究

山崎 雅人（ヤマザキ マサト）准教授
アジア比較言語研究、中国音韻論、満州語の研究

田中 一彦（タナカ カズヒコ）准教授
英語と日本語の時制・相に関わる問題（間接話法構文や時の副詞節中の時制のふるまい方の比較等）

■表現文化コース

浅岡 宣彦（アサオカ ノブヒコ）教授
異文化の交流および文学を素材にした芸術ジャンル相互の交流、ロシア文化論、プーシキンを中心とする19世紀ロシア文学

荒木 映子（アラキ エイコ）教授
文学・文化理論、表象文化論（特に、世紀末から現代にかけてる英語圏を中心としたヨーロッパの文化）
📖『生と死のレトリック』英宝社、1996

三上 雅子（ミカミ マサコ）教授
日本と英米・ヨーロッパ（特にドイツ語圏）表現文化比較、現代演劇論

野末 紀之（ノズエ ノリユキ）准教授
芸術・メディアを通じての西欧近代の知・感受性の変容、身体と芸術表現、19世紀末文化論

小田中 章浩（オダナカ アキヒロ）准教授
フランス演劇および西洋演劇に関する比較演劇史的な研究、演劇的な表現の特色に関する考察

高島 葉子（タカシマ ヨウコ）准教授
比較文化、民間説話・民間伝承（特に妖精伝承）の伝統文化的研究

海老根 剛（エビネ タケシ）講師
文化理論、映画を中心とする映像論、現代ドイツ研究

■アジア都市文化学専修（大学院のみ）

高坂 史郎（コウサカ シロウ）教授
日本思想史、近代日本哲学、近世東アジア比較思想史、近代化論
📖『近代という躓き』ナカニシヤ出版、1997

中川 眞（ナカガワ シン）教授
東南アジアの民族音楽・舞踏研究、サウンドスケープ論
📖『平安京　音の宇宙』（新訂版）平凡社、2004

野崎 充彦（ノザキ ミツヒコ）教授
朝鮮半島の都市の生活空間、古典文学および伝統文化論（民間信仰、風水ほか）
📖『コリアの不思議世界』平凡社、2003

橋爪 紳也（ハシヅメ シンヤ）教授（兼担）
アジア諸都市にかんする観光学的研究、都市文化論
📖『日本の遊園地』講談社現代新書、2000

多和田 裕司（タワダ ヒロシ）准教授
アジア諸地域の文化人類学的研究、現代マレーシアにおけるイスラームと政治
📖『マレー・イスラームの人類学』ナカニシヤ出版、2005

増田 聡（マスダ サトシ）講師
ポピュラー音楽研究、文化産業論、著作権論、メディア文化論
📖『聴衆をつくる』青土社、2006

（2007年8月現在）

編集後記

将来の後輩たちへ〜大学生になるコト。〜

今回の文学部案内は、いかがでしたか？実は、今回の市大文学部案内冊子は、そのほとんどを僕らが企画立案および作成したものです。ぜひとも進路選びの参考にしてもらえれば幸いです。

大山大樹（ダイ）

言語文化学科フランス言語文化コース４回生

人生80年、24時間で考えると大学生活は朝の６時前後、日が昇り活気付き始める1日のラジオ体操の時間。焦らずじっくり今日（人生）をどう過ごすかを考えるとても大切な場所。これから今日が始まる‼ 出来ない事よりも出来る事を、嫌いな物よりも好きな物を…人生減点法じゃなくて加点法で考えればワクワクが止まらない‼

皆仲良し♪
助け合い、励ましあった大切な仲間。

小笠原令子（レイコ）

人間行動学科社会学コース３回生

文学部案内、楽しんで頂けましたか？大学に入るとこんなこともできてしまうんですね☆笑　大学は、自分の生き方を自分自身で選択していく場所。するもしないもあなた次第。あなたの働きかけ次第で、アナタが思い描く通りのキャンパスライフが送れます。恐れないで、アクティブに動いてみよう！

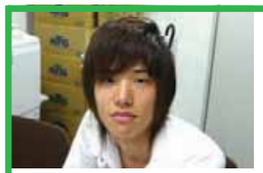
若干１名、おかしな人がいますが、彼がリーダーです……

藤田裕子（ユッコ）

人間行動学科教育学コース３回生

大学生は楽しいです。広がります。変わります。
おもしろい人と出会って、関わって作っていく。
そういう自分を選べる場所です。
夢をいっぱいふくらませて
何でもおもしろがる気持ちで、おいでませ♪

ミーティング後のピザは最高!
太る太る…(笑)



林佑樹（ヤッシー）

人間行動学科社会学コース３回生

大学は自分がしたいことができる、かなり自由な場所です。どう過ごすかはあなた次第。で、どこで大学生活を過ごすかを決めるのが最初の選択。その選択の助けにしてください。

支援機構のスタッフは１回生から院生まで皆仲良し♪♪ノリ良すぎです☆

山本達也（たっちゃん）

１回生

大学生活に限らず、人との出会いは自分の価値観を変える程の力をもつ。勉強以外でも自分の気持ちに素直になって、興味あることはできるだけやってみよう。来年、キャンパスでみんなと会えるのを楽しみにしてます‼

皿谷磨衣子（マイコ）

１回生

大学生活はとても自由です。気持ちと行動一つで色んなことを吸収できるからこそ色んなことに敏感になって興味を持つことが大切だと分かりました。大学に入る前にしか見えないことも沢山あるはず！今のうちに色んなことを感じて、より楽しい大学生活を送るための糧にしてくださいね♪

マインドマップにLet's Try!!

～やすみ時間にみんなでやってみよう！！～

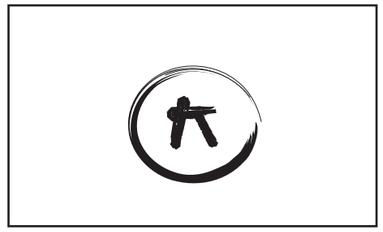
そもそもマインドマップって？

…思考方法の１つ。新しく案を考える時や、情報を整理する時に役に立ちます。
今回は、冊子の案だしの時に行った、一番簡単な方法をご紹介します。

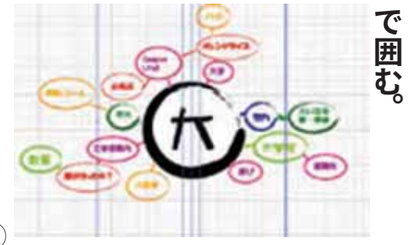
作成方法

準備物…１、大きめの紙（人数が多いほど大きい方がいいよ♪）
２、人数分の色の違うペン（無くてもできるよ♪）
３、楽しい空気＆テンション＆イマジネーション

テーマをでっかく紙の中心に書く。



①



②連想される言葉を線でつないでいく。言葉は丸で囲む。

④完成！

③書きまくる…。たまにボケたりとかしてみたり

こんな時に使える!!

…以下のような状況にあったら、とりあえずマインドマップをやってみよう!!

一、勉強方法で悩んだ時
一、文化祭の企画を考える時
一、仲間と意見を交換したい時
一、なんか暇な時
一、今晩のおかずが決まらない時
一、上記どれにもあてはまらない時

テーマの決め方

…真ん中の丸の言葉によって、よりイマジネーションが働くようになります。

一、簡単で連想しやすいもの
一、抽象的な単語にする
一、考えたいコトをテーマにしない
（例）「進路」について、マインドマップを作りたい時、テーマをそのまま「進路」とするのではなく、一段階抽象レベルを上げて、「趣味」「夢」などにする。

コツ（おまけ）

一、たくさんの人とやる
一、いろんな人とやる
一、先生とかとやる
一、難しく考えない
一、書きながら考える
一、出た項目を批判しない
一、周りの項目とつなげる
一、時には笑いに走る
※走りすぎには要注意!!!